

●収益の状況

貸出金利息収入が前年同期比152百万円増加したこと等を要因として、基本的な収益力であるコア業務純益は前年同期比3億22百万円増加し、14億63百万円となりました。

経常利益は貸出金利息、有価証券利息配当金の増加および国債等債券償却が減少したこと等により、前年同期比5億28百万円増加し、11億24百万円となりました。

当期純利益は前年同期比3億38百万円増加し、6億39百万円となりました。

○損益状況と総与信費用の推移

(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
経常利益	98	596	1,124
当期純利益	485	301	639
コア業務純益	945	1,141	1,463
総与信費用	327	501	524

※コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券損益
※総与信費用＝不良債権処理額＋一般貸倒引当金繰入額

●預金・預り資産・貸出金の状況

預金につきましては、前年同期比46億72百万円減少し、2,416億68百万円となりました。

貸出金につきましては、中小企業向け貸出は増加したものの、地方公共団体向け貸出が減少した結果、前年同期比5億77百万円減少し1,955億49百万円となりました。

○預金、個人預金及び預り資産残高の推移

(単位：億円)

	2020年3月末	2021年3月末	2022年3月末
預金	2,293	2,463	2,416
個人預金	1,663	1,733	1,713
預り資産	247	234	232

(注) 預り資産に含まれる投資信託の残高は2021年3月末より時価額での表示に変更しております。

○貸出金及び佐賀県内向け貸出金の推移

(単位：億円)

	2020年3月末	2021年3月末	2022年3月末
貸出金	1,836	1,961	1,955
佐賀県内向け貸出金	1,324	1,415	1,375

●自己資本比率の状況（国内基準）

2022年3月期における自己資本比率は、8.68%となりました。

自己資本比率は、国内基準で必要とされている4%を大幅に上回る水準を長年に亘り維持しており、経営の健全性は高く、安心してお取引いただける水準にあります。

当行は、今後とも財務基盤の強化に努めてまいります。

※自己資本比率とは総資産に対する自己資本（資本金や引当金等）の割合を示すもので、金融機関の財務内容の健全性を判断する重要な指標となっています。当行のように海外に営業拠点を持たない銀行は4%以上（国内基準）を維持することが義務づけられています。

○自己資本比率の推移

(単位：%)

	2020年3月末	2021年3月末	2022年3月末
自己資本比率（国内基準）	8.42	8.44	8.68

●不良債権の状況

当行は、地域経済への貢献に重点を置いて、取引先企業の経営改善及び再生支援に注力するとともに、不良債権の圧縮に努めております。

2022年3月末の不良債権（金融再生法開示債権）残高は、72億28百万円であり、総与信に対する割合は3.68%です。不良債権（金融再生法開示債権）残高の内77.75%は貸倒引当金や担保等でカバーされております。

○金融再生法に基づく開示基準による資産内容

(単位：百万円)

	2022年3月期				
	債権残高 A	担保等による 保全額B	貸倒引当金 C	保全額 D = B + C	保全率 (%) D / A
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	979	497	481	979	100.00
危険債権	4,766	2,626	1,192	3,818	80.10
要管理債権	1,482	573	249	822	55.49
合計	7,228	3,697	1,923	5,620	77.75

○不良債権（金融再生法開示債権）の推移

（単位：百万円）

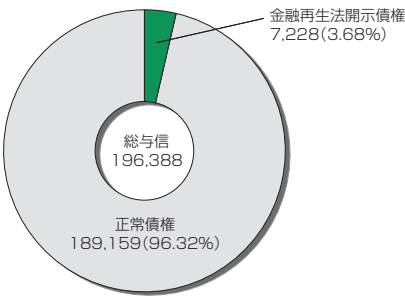
	2020年3月末	2021年3月末	2022年3月末
金融再生法開示債権残高	4,726	6,155	7,228
金融再生法開示債権比率	2.56%	3.12%	3.68%

金融再生法に基づく開示基準の概要

- 総与信……………貸出金、外国為替、支払承諾見返、未収利息、仮払金、貸付有価証券
- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権…… 経営が破綻した取引先への債権
- 危険債権……………経営状態が悪化し、経営は破綻していないまでも約定どおりに返済できない可能性が高い取引先への債権
- 要管理債権……………元金または利息の支払が3カ月以上遅れている貸出金と、貸出条件を緩和している債権（上記2債権を除く）

●総与信に占める金融再生法開示債権の残高と比率

（単位：百万円）



※記載金額、比率は単位未満を切り捨てて表示しております。

●最近5事業年度に係る主要な経営指標等の推移

（単位：百万円）

項 目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
経 常 収 益	5,760	5,549	5,896	5,881	6,125
経 常 利 益	802	403	98	596	1,124
当 期 純 利 益	558	256	485	301	639
持分法を適用した場合の投資利益	—	—	—	—	—
資 本 金 (発行済株式総数)	2,679 (22,034千株)	2,679 (22,034千株)	2,679 (22,034千株)	2,679 (22,034千株)	2,679 (22,034千株)
純 資 産 額	14,844	14,399	13,675	15,341	14,984
総 資 産 額	259,840	262,813	258,056	278,337	274,638
預 金 残 高	225,463	230,416	229,313	246,340	241,668
貸 出 金 残 高	184,184	181,287	183,625	196,126	195,549
有 価 証 券 残 高	64,214	62,732	59,492	60,212	58,888
1株当たり純資産額	678.74円	658.58円	625.55円	701.97円	685.77円
1株当たり配当額 (内1株当たり中間配当額)	6.00円 (3.00円)	6.00円 (3.00円)	7.00円 (3.00円)	6.00円 (3.00円)	6.00円 (3.00円)
1株当たり当期純利益	25.53円	11.75円	22.22円	13.80円	29.28円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	—	—	—	—
配 当 性 向	23.49%	51.05%	31.49%	43.47%	20.49%
従 業 員 数	324人	289人	278人	284人	285人
自 己 資 本 比 率	5.71%	5.47%	5.29%	5.51%	5.45%
単体自己資本比率（国内基準）	8.07%	8.13%	8.42%	8.44%	8.68%
自 己 資 本 利 益 率	3.84%	1.75%	3.46%	2.07%	4.21%
株 価 収 益 率	—	—	—	—	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,375	7,408	△4,875	6,668	△1,212
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,409	232	1,512	1,205	172
財務活動によるキャッシュ・フロー	△135	△133	△131	△155	△132
現金及び現金同等物の期末残高	9,527	17,035	13,540	21,259	20,087

- (注) 1. 当行は関連会社がないため、持分法を適用した場合の投資利益は記載しておりません。
2. 第104期（2022年3月）中間配当についての取締役会決議は2021年11月10日に行いました。
3. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。
4. 2020年3月期の1株当たり配当額7.00円には、創業70周年記念配当1.00円を含んでおります。
5. 自己資本比率は、（期末純資産の部合計－期末株式引受権－期末新株予約権）を期末資産の部の合計で除して算出してしております。
6. 単体自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく平成18年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出してしております。
7. 株価収益率については、非上場であるため、記載しておりません。
8. 従業員数は、就業人員数を表示しております。

● 2021年度に行った施策

・ きょうぎんマルシェの定期開催

当行では事業者さまの売上拡大支援として、「きょうぎんマルシェ」を定期開催しております。当行本店において毎月第3水曜日に「パン・スイーツフェア」等、毎回違うテーマのマルシェを開催しておりますので、ぜひお立ち寄りください。

【開催内容】

開催月	テーマ
2022年6月	プリン&カレーフェア
2022年5月	女性オーナーや女性スタッフの方がキーパーソンの事業者
2022年4月	テーマ設定を設けず開催
2022年3月	お酒にまつわる商品
2022年2月	テーマ設定を設けず開催
2022年1月	パン・スイーツフェア

・ 当行本店・支店での駐車場やロビー等の余剰スペースを活用したお客さま支援

当行本店・支店の余剰スペース（駐車場やロビー等）を、お客さまの商品や製品（パン、野菜、特産品等）の販売やキッチンカーの出店のためにご利用いただく取り組みを行っております。このような銀行の施設を貸出す業務は、金融機関では珍しい取り組みです。多数の方の出店をいただいております。今後も当行役職員一丸となってお客さまの販売拡大支援に取り組んで参ります。

・ Instagram（インスタグラム）による情報発信の開始

お客さまの販路拡大支援として、Instagram（インスタグラム）公式アカウント「よかとこさが」を開設し、お客さまのおすすめ商品や新規出店等のPR情報を発信しております。ぜひアカウントをフォローして頂き、地域の逸品を見つけてください。

・ 宅急便取次業務の開始

ヤマト運輸株式会社と取扱店業務委託契約を締結し、当行窓口での宅急便の取次業務を開始しました。銀行窓口での宅急便取次業務は、全国的にも珍しい取り組みです。当行ではマルシェの開催や銀行ロビー、駐車場を商品販売の場所（イベントスペース）として貸出しており、お客さまが購入された商品を当行窓口から直接発送することが可能となりました。

・ 令和3年8月九州北部豪雨に係る義援金の寄付

令和3年8月九州北部豪雨災害により被害を受けられた方への義援金として、佐賀善意銀行へ100万円の寄付を行いました。

・ 松尾山護國光勝寺へ寄付

小城市にある松尾山護國光勝寺に本堂等の修理を支援するため寄付を行いました。当行管理職が研修でお世話になったご縁もあり、寄付に至りました。当行は今後も社会貢献活動を実施して参ります。

◆ トピックス

・ 伊万里支店の改装オープン

伊万里支店を改装するとともに有田支店を伊万里支店内に移転統合しました。伊万里支店は、ロビーや天井に木目調の素材を取り入れることで、居心地の良い店舗へとリニューアルいたしました。今後も地域の方々に快適にご利用いただける店舗づくりに努めて参ります。

・ スマートフォン決済アプリ「Pay B」（ペイビー）のサービス提供開始

2021年5月より、決済アプリ「Pay B」（ビリングシステム株式会社提供）のサービス提供を開始しました。当該アプリは、当行の普通預金口座（キャッシュカード発行済）を登録いただくことで場所や時間を選ばずに各種税金や公共料金等の支払いをコンビニ等払込票を用いてスマートフォンで完了させることができます。